

特許第一六九二九七號

第三九類 一五、銃架及脚

願書番號昭和十九年第一三六九號
出願 昭和十九年二月五日
特許 昭和二十年一月十六日

東京都杉並區井荻一丁目六十九番地

發明者 藤 健 次

東京都麹町區丸の内三丁目四番地

特許權者 加 藤 健 次

代理人 辨理士 清 瀨 三 郎

外三名

航空機ニ於ケル重火炮裝備法

發明ノ性質及目的ノ要領 本發明ハ航空機機體下側ニ收納、突出自在ナル火炮支持架ヲ設ケ該支持架ヲ以テ重火炮ヲ支持シ重火炮ノ收納及突出支持ヲ可能ナラシムル事ヲ特徴トスル航空機ニ於ケル重火炮裝備法ニ係リ其目的トスル所ハ航空機ニ於テ大口徑重火炮ノ裝備發射ヲ可能ナラシメントスルニ在リ
圖面ノ略解 圖面ハ本發明ノ實施例ヲ示スモノニシテ第一圖ハ側面圖第二圖ハ正面圖ナリ
發明ノ詳細ナル説明 現在航空機ニ於ケル火炮ハ其口徑相當増大セラレタリト雖重裝備ノ爆發機ニ對スル效果ハ未シノ感アリ然ルニ超大口徑ノ重火炮ノ裝備ハ緊喫時ノ問題タルニ拘ラス「プロペラ」ノ存在其他ノ理由ニヨリ實施困難ナル狀態ニアリ

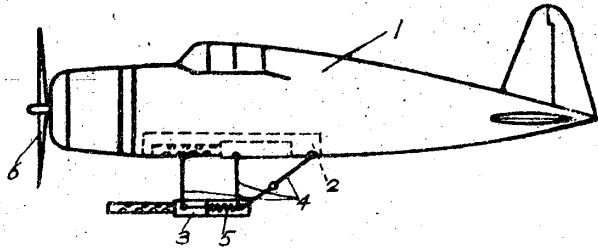
明細

(昭和二十一年五月六日特許標準局發行)

本發明ハ之ヲ極メテ簡單效果のニ實施セシメントスルモノニシテ現在行ハレ居ル引込脚車輪ノ形態ニ於テ超大口徑ノ重火炮ノ裝備ヲ行ハシメントスルモノナリ之ヲ圖面ニ就キ説明スレハ戰闘機機體①ノ下側ニ重火炮收納室②ヲ設ケ茲ニ屈伸式或ハ折疊式ノ支持架③ヲ以テ支持セラレタル重火炮④ヲ支持架③ノ引込ヲ以テ引込收納セシメ抵抗少キ飛行ヲ可能ナラシムルト共ニ該重火炮使用ニ際シテハ支持架③ヲ伸張セシムル事ニヨリ重火炮ヲ機體下側ニ突出支持セシメ「プロペラ」圈外ニ於ケル其射撃ヲ容易確實ニ行ハシムヘクナシタルモノナリ其射撃ハ油壓式、電氣式等ヲ以テ簡單ニ遠隔制御シ得ヘク又支持架③ノ出入モ引込脚車輪ニ於ケルト同様簡單ニ實施セラルヘシ尙圖中⑤ハ反動緩衝裝置⑥ハ「プロペラ」⑦ハ通常機關砲ヲ示ス
本發明ニヨレハ超大口徑ノ重火炮ノ積載射撃カ極メテ容易トナリ重裝備超重爆ノ擊墜モ容易トナル故其效用ハ極メテ大ナルヘシコノ際其支持架裝備作働モ既ニ行ハレ居ル引込脚車輪ニ於ケル技術ヲ其儘生カシ得ヘク之カ射撃時ニ生スヘキ空氣抵抗増大モ引込脚車輪ノ場合ニ對比シ差シタル懼念モナク從ツテ實

施極メテ容易ナル所ナレハ急速整備ノ上ニ於テ頗ル
 效果的ナル手段タルヘシ
 特許請求ノ範圍 本文所載ノ目的ニ於テ本文ニ詳記
 セル如ク航空機機體下側ニ收納、突出自在ナル火炮
 支持架ヲ設ケ該支持架ヲ以テ重火炮ヲ支持シ重火炮
 ノ收納及突出支持ヲ可能ナラシムル事ヲ特徴トスル
 航空機ニ於ケル重火炮裝備法

圖一第



圖二第

